

取扱説明書

セルトレイ播種機

STH5-128

STH5-200



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

セルトレイ播種機 STH5-128・200 を お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は、播種機 STH5-128・200 の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・JAにご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性がある物を示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

目 次

1. 安全に作業をするために	3
2. 安全銘板の貼り付け位置	5
3. 本製品の使用目的について	5
4. 各部の名称	6
5. 仕 様	7
6. 組立要領	7
7. 作業前の準備	8
8. 播種作業のしかた	10
9. 点検・整備及び保管時の注意	11
10. 故障の診断と処置	12

1. 安全に作業をするために

ここに記載されている注意事項を守らないと、
死亡を含む障害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

⚠ 警告 子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】
障害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 警告 2人以上で作業をする時は、 お互いに合図しながら機械を始動する

【守らないと】
思わぬ事故になることがあります。



⚠ 注意 使用前に取扱説明書を必ず読む

使用前に取扱説明書をよく読んで、安全で正しい作業をして
ください。

【守らないと】
傷害事故や機械の破損を引き起こします。



⚠ 注意 こんな時は作業しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。

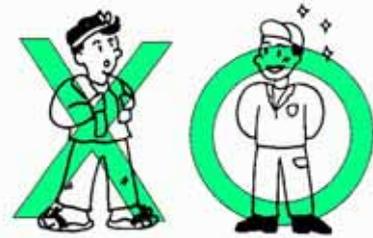




注意 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。
作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】
機械に巻き込まれたりするおそれがあります。



注意 点検・整備を行う

機械を使用する前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】
事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



注意 カバー類は必ず取付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取付けてください。

【守らないと】
機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



注意 機械を他人に貸す時は、取扱い方法を説明する

取扱い方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

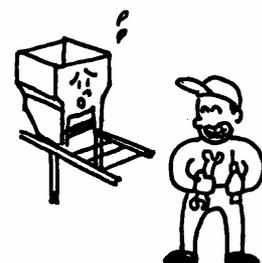
【守らないと】
傷害事故や、機械の破損をまねくおそれがあります。



注意 機械の改造をしない

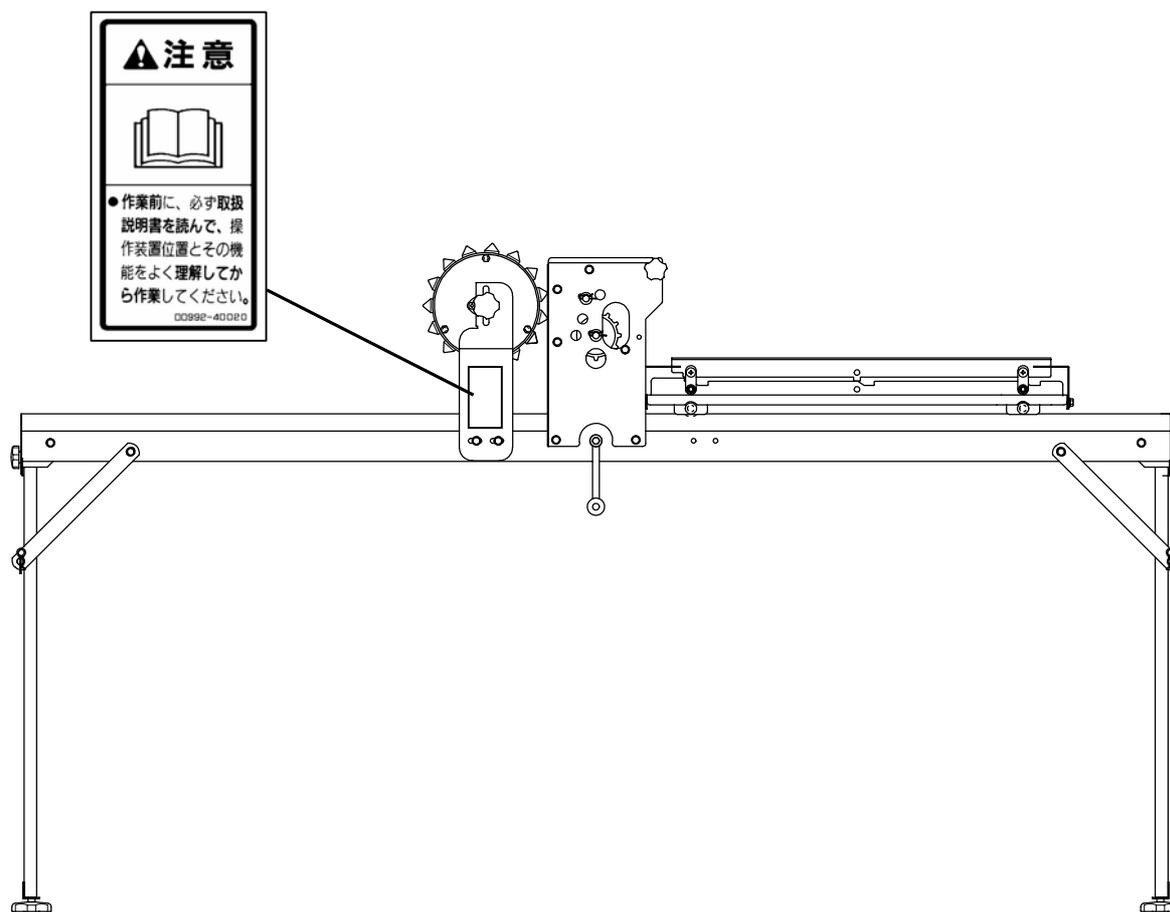
純正部品や指定以外のアタッチメントを取付けないでください。
また、改造はしないでください。

【守らないと】
事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



2. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業をしていただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しい物に貼り直してください。



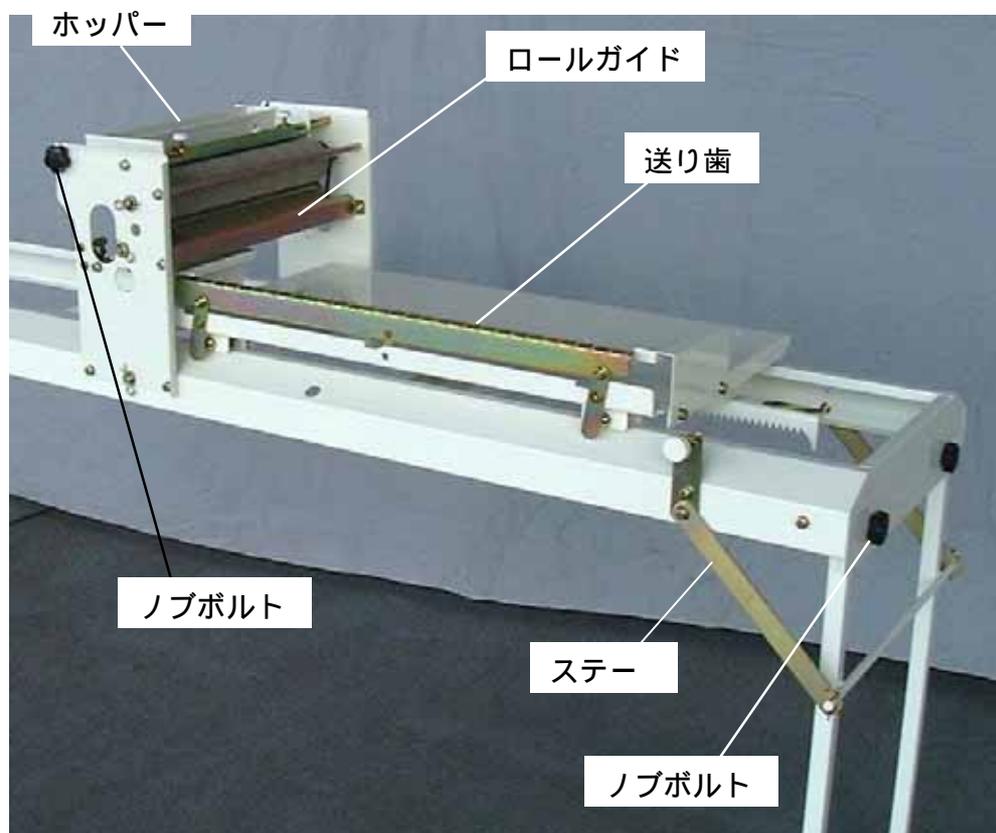
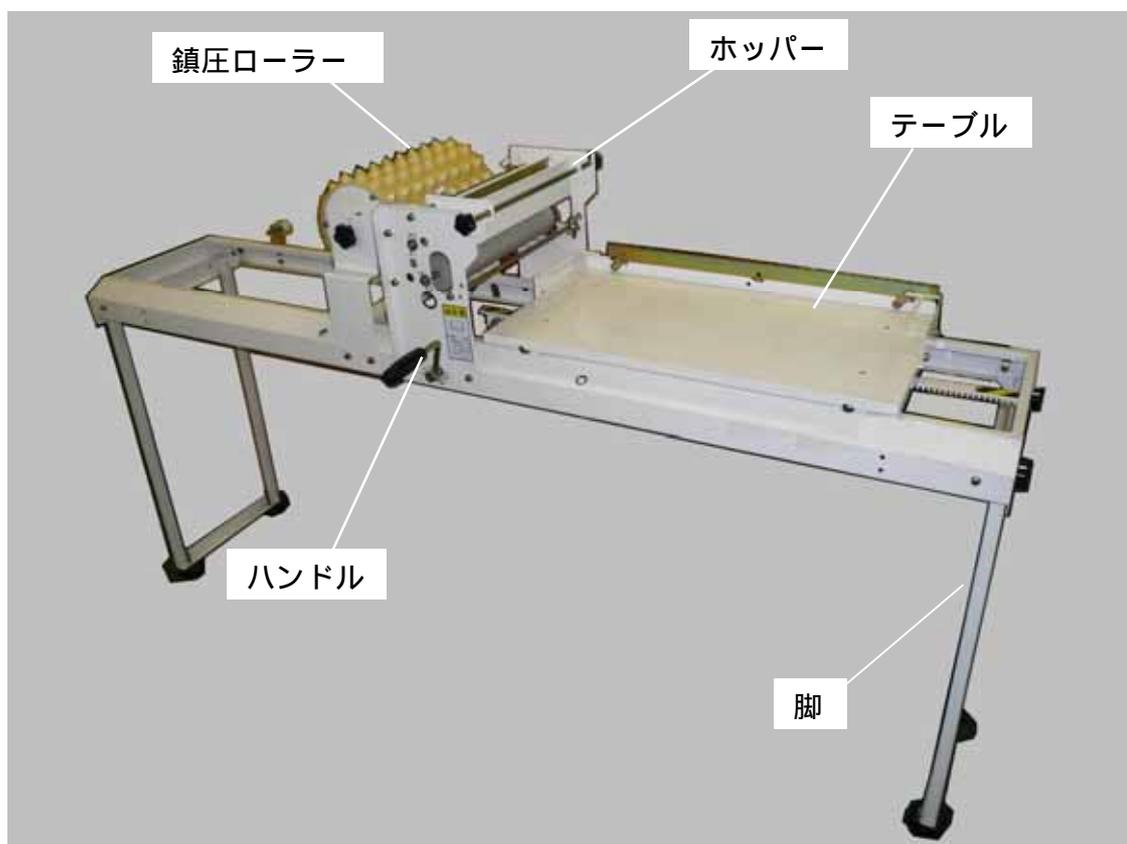
紛失または破損された場合には、当社へ下記の表を参考にご注文ください。

部品番号	部品名称
00992 - 40020	注意ラベル CL-1

3. 本製品の使用目的について

本製品は、育苗箱へセルトレイを入れ養土を充填し、播種穴を成形した状態のところへ、野菜のコート種子を播種する作業機としてご使用ください。
目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

4. 各部の名称



5. 仕 様

型 式		STH5-128	STH5-200
機体寸法	全 長	1760mm	
	全 幅	595mm	
	全 高	995mm	
重 量		21kg	
動 力		手動	
ホッパー容量		0.9L	
播種緒元	対 象 種 子	コート種子 Lサイズ	
	播 種 対 象	全農規格セルトレイ 128 穴	200 穴
	アンダートレイ	水稲用育苗箱 (33mm)	
	播 種 量	1 穴 1 粒	
搬 送 方 法		歯車による前進、後退	
能 力		60～100 箱/時	
鎮 圧 ロ ー ラ ー		30 (128 穴)	25 (200 穴)

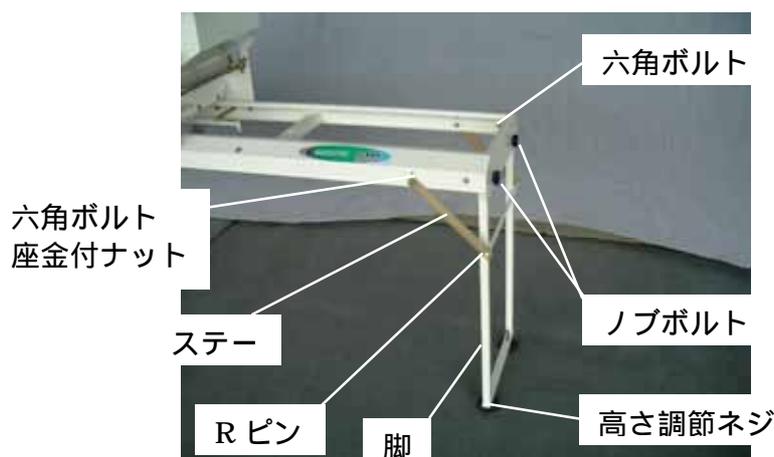
コート種子は、粒径2.5～3.5mmの丸くて種子どうしがくっついていないもの。

6. 組 立 要 領

6.1 脚の組立

- (1) フレームの内側から六角ボルト M6(両側 4 本)をゆるめて脚を立てて、ノブボルト (M6×10)にて、しっかりと固定してください。フレームの内側の六角ボルト M6(両側 4 本)を、しっかりと固定してください。
- (2) ステーを脚の丸棒に入れ、R ピンで止めます。
- (3) ステー上部の長穴とフレームの穴に、六角ボルトと座金付ナットで確実に固定してください。

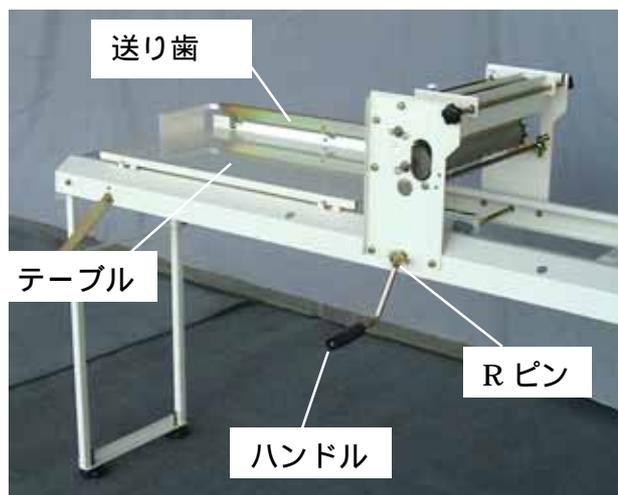
反転スタンドの所は、下側のボルトを外して共締めしてください。



6.2 ハンドルの組立

送り歯が奥側になるように見て、テーブルを左側一杯に寄せてください。

ハンドルシャフトに、ハンドルニギリが真下になるように穴位置を合わせ、『Rピン』にて固定してください。ハンドルは反対側に組付けることもできます。



7. 作業前の準備

7.1 本機の設置

平らな場所を選び、全体が水平になるように設置してください。高さ調節ネジでガタつきのないようにしてください。

7.2 育苗箱について

水稻育苗箱は、底の平らな出来るだけ同じ種類の物で、『そり』『ねじれ』のない箱を使用してください。

水稻育苗箱全体の高さは、33 mmの箱を使用してください。

底にリップのある38 mmの箱は使用出来ません。

水稻育苗箱は、よく洗浄した物を使用してください。

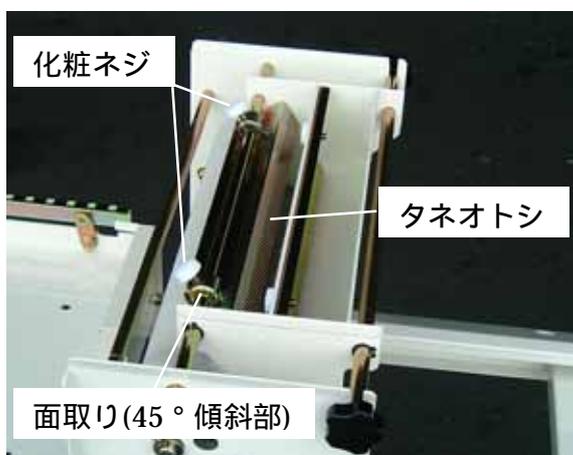
7.3 タネオトシのセットまたは、解除について

タネオトシは、回転ブラシの変形(くせ)を防ぐために、解除してあります。

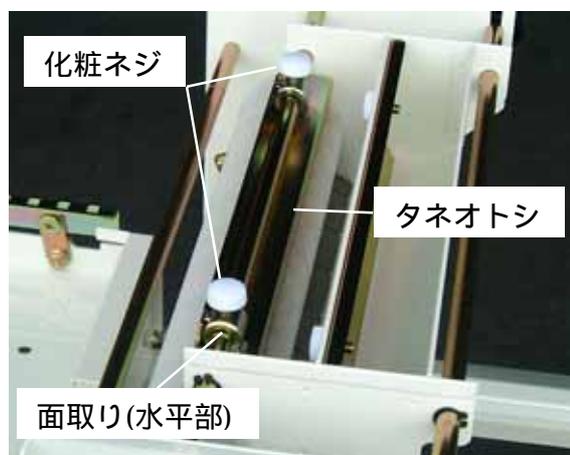
化粧ネジを緩めて約45度回転し櫛歯が垂直になるように化粧ネジを締め付けます。

シャフトには面取りがしてありますので、自動的に位置が決まります。

(注意) 播種作業終了後、または、長時間作業を休む時は『タネオトシ』を解除してください。上記作業の逆になります。



タネオトシの解除



タネオトシのセット

7.4 送り歯と播種ローラー回転歯の位置合わせ

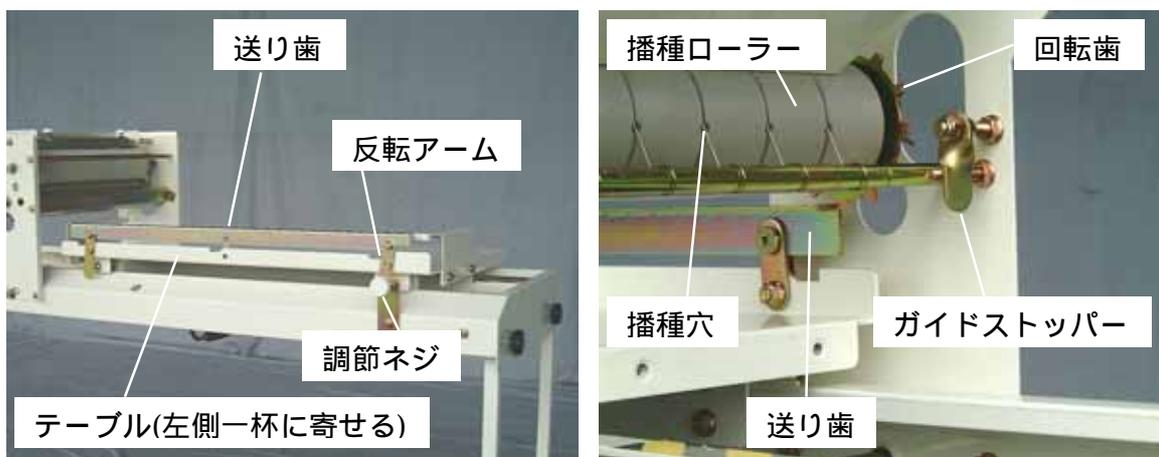
(注意) 送り歯と回転歯の位置合わせの時、噛み合わせを見ながらハンドルをゆっくり回してください。

播種ローラーは、送り歯が回転歯と噛み合って回転します。送り歯の最初の穴に、播種ローラーの播種穴が合えば、種子はセルトレイの中心に落ちます。

送り歯の最初の穴に、播種ローラーの播種穴が合わない時は、種子はセルトレイの中心に落ちません。この場合は播種ローラーの回転歯を一歯分だけ進めます。(戻す方向だと種子がつぶれます)

(注意) 送り歯と回転歯は播種穴の2倍、または3倍の数となっています。

(注意) 送り歯は、播種するときテーブルを左側一杯に寄せると、反転アームが調節ネジに当たり送り歯が自動的に上方へ移動します。播種が完了しテーブルを戻すときに、送り歯は自動的に回転歯に当たらない位置まで下がります。



7.5 ホッパーと、シャッターの位置確認

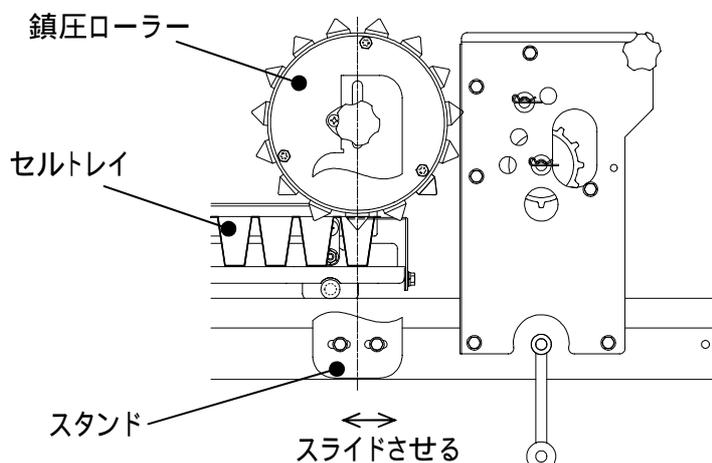
ホッパーのシャッターは、コート種子が少量ずつ流れ出るように調節します。

ホッパーはタネオトシシャフトを支点として回転します。種子を入れる前にノブネジで、サイドスタンドに確実に固定されていることを確認してください。

7.6 鎮圧ローラーの調節

(1) 鎮圧ローラーとセルトレイ上面の隙間が0~2mmになるように調節してください。

(2) テーブルが左端に来たときに、鎮圧ローラーのコブが最後のセルの中心で真下を向くように、スタンドの位置を調節します。



8. 播種作業のしかた

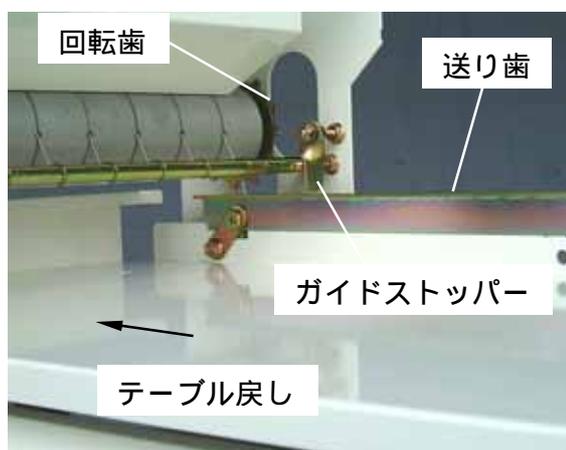
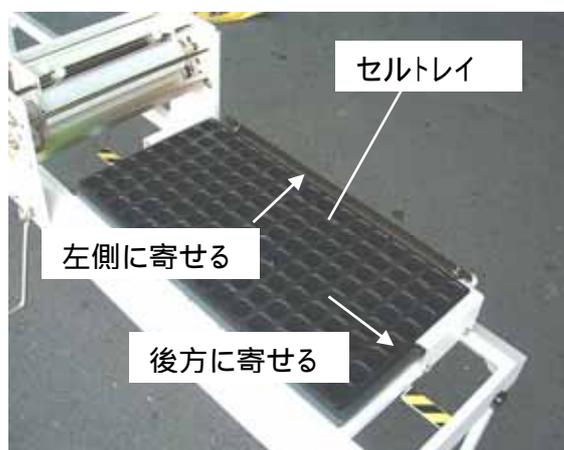
- (注意) コート種子は、輸送時に割れたり、粉が出たりしていますので開封して直接ホッパーに入れしないでください。播種精度が低下する原因になります。また、回収した種子も同様です。
- (注意) 種子に静電気が発生していると、播種ローラーの穴にうまく種子が入らず、播種ムラの原因になります。金属製のボールなどに一度コート種子を入れて、静電気を取り除いてからホッパーに入れます。冬場の乾燥した時期は特に注意してください。
- (注意) セルトレイの上面に土が盛り上がっていないようにしてください。鎮圧ローラーで引っかかってしまいます。
- (注意) 灌水してから本機を使用する場合は、鎮圧ローラーに土が付着していないか確認しながら作業してください。土が付着すると正常に鎮圧できなくなります。

8.1 コート種子をホッパーに入れ試しまきをします

コート種子をホッパーに入れます。この状態で播種作業を開始することは出来ません。水稻育苗箱に空のセルトレイを入れ、テーブルに乗せ試しまきをします。数列は播種されませんがその後のセルトレイに、一粒ずつ播種されていることを確認します。
種子は回収しホッパーに戻します。(土、ゴミを入れしないでください)

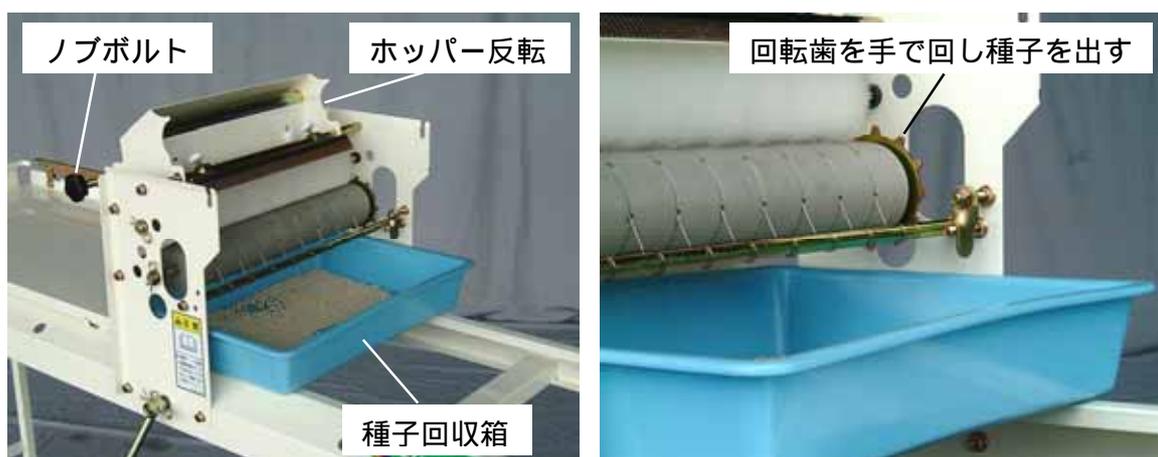
8.2 播種作業

- (1) テーブルを右側一杯に寄せます。
 - (2) 水稻育苗箱に土が充填されたセルトレイを入れ、テーブルに乗せ左側及び、後方をガイドにあてます。(セルトレイで位置決めをします)
 - (3) ハンドルをゆっくりと回し鎮圧します。ハンドルは一定の速さで回転します。送り歯はガイドストッパーに当たり前方へ倒れます。
 - (4) テーブルが前進出来ない所まで進んだらハンドルを逆転させ播種します。(この時、送り歯が上方へ移動したことを確認します)
 - (5) ハンドルはゆっくりと(1回転で1~2秒程度)一定の速さで回転します。回転ムラは播種精度に直接影響しますのでご注意ください。
 - (6) テーブルが前進出来ない所まで進んだら、播種の状態を確認し、水稻育苗箱とセルトレイを取り出します。
- (注意) テーブルを移動させる時に早い回転のまま最後まで行くと、送り歯の上方への移動が激しくなり、衝撃を受け破損 変形の恐れがありますので最後は必ずゆっくりと回してください。



8.3 種子の交換(取り出し)

- (1) 送り歯が奥側になるように見て、テーブルを左側一杯に寄せます。
 - (2) ホッパーの下に種子回収用の箱(約 20W×40L×7H cm・・・別売品)を置きます。
 - (3) ホッパーを固定しているノブネジ(両側)を緩めます。ホッパーはタネオトシシャフトを支点としてゆっくり回転させるとコート種子が箱に回収されます。
 - (4) 回転歯の位置を確認し、回転歯を指で回しロールガイドの中のコート種子を回収します。
 - (5) 回転歯を元の位置に合わせてホッパーを戻し、ノブネジで、サイドスタンドに確実に固定してください。
- (注意) 回収した種子は、必ず割れた種子などを選別してから使用してください。



8.4 タネオトシの解除

タネオトシは、回転ブラシの変形(くせ)を防ぐために、解除します。

化粧ネジを緩めて約 45 度回転し櫛歯が、回転ブラシから離れた状態になるように化粧ネジを締め付けます。

シャフトには面取りがしてありますので、自動的に位置が決まります。

- (注意) 播種作業終了後、または、長時間作業を休む時は『タネオトシ』を必ず解除してください。

9. 点検・整備及び保管時の注意

播種作業が終わって、長時間使用しないときは、次の点に注意してください。

9.1 タネオトシの解除

タネオトシは、回転ブラシの変形(くせ)を防ぐために、解除します。

化粧ネジを緩めて約 45 度回転し櫛歯が、回転ブラシから離れた状態になるように化粧ネジを締め付けます。

シャフトには面取りがしてありますので、自動的に位置が決まります。

- (注意) 播種作業終了後、または、長時間作業を休む時は『タネオトシ』を必ず解除してください。

9.2 残量種子の取り出し

種子がホッパーに残ったまま保管しないでください。思わぬ事故につながる可能性があります。

9.3 水洗いの禁止

播種部は水洗い厳禁です。また、雨水、結露水も掛からないように注意してください。

9.4 給油

- (1) 回転部分の軸受け部、歯車部へ給油してください。
- (2) テーブルの転輪部軸部(4ヶ所)へも必ず給油してください。

9.5 保管

- (1) 播種部にほこり、雨水、結露水が掛からないようにカバーをして保管してください。
- (2) 播種機の格納は、直射日光を避けて保管してください。
- (3) ガラスハウス、ビニール温室など高温になる場所には置かないでください。

10. 故障の診断と処置

現象	原因	処置
コート種子がセルの中心に落ちない。	播種ローラーの播種穴と回転歯の歯先が一直線になっていない。 送り歯の最初の穴に、播種ローラーの播種穴のある回転歯が合っていない。 セルトレイを、テーブルに乗せた位置がずれている。 ハンドルの回転が一定でない。 (早すぎない)	播種ローラーの播種穴と回転歯の歯先を一直線に合わせます。 播種ローラーの回転歯を一歯分だけ進めます。 セルトレイは、テーブルに乗せ左側及び、後方をストッパーにあてます。 ハンドルはゆっくり一定の速さで回します。
セル1穴に2粒播種する。	コート種子の粒径が小さい。	コート種子(L)を使用してください。 粒径 2.5 ~ 3.5 mmの丸くて種子どうしがくっついていないもの。
セル穴に欠粒。	コート種子の粒径が大きい。または、ゴミ、割れた種子が混じっている。	コート種子(L)を使用してください。 種子の選別、ゴミの除去をお願いします。
最後の一行がうまく鎮圧できない。	鎮圧ローラーの位置がずれています。	テーブルが左端に来たときに、鎮圧ローラーの突起が最後のセルの中心で真下を向くように、スタンドの位置を調節します。

実り豊かな明日をひらく

株式会社スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地 44-3

代表 / TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592

URL.<http://www.suzotec.co.jp>

20168-41490-14000-1